

学校評価票

本校の目指す教育	国家社会の進展に寄与できる実践力に富んだ有徳な人物の育成を目指して、おおらかな徳操、高い知性、健全なる身体、勤労の精神、実行の勇気を涵養し鍛錬する。
本年度の重点目標	1 基本的な生活習慣を身につけた礼儀正しさ、自主的な生活態度を育てる。 2 充実した授業を通して、確かな学力の伸長を図る。 3 生徒の特性を生かす指導に努め、進路実現に意欲的に取り組む態度を育てる。 4 部活動を奨励し、たくましい心と体を育てる。 5 教育環境の美化に努め、施設・設備の充実に取り組む。

自己評価					学校関係者評価			
番号	評価項目	年度当初の状況			年度末の最終評価（3月）			実施日：平成29年6月14日
		現状・課題	具体的な方策	評価指標	経過・達成状況等	達成度	今後の課題と改善策	
1	授業	<p>○多様化する生徒の進路希望に対応するため、それぞれのコースの目標に即した授業の展開が求められている。</p> <p>○今年度から中高一貫部の生徒が高等部に入ることにより、高等学校のコースを再編成した。また、そのコースの特性を活かし、効率的に進路実現を図れるようカリキュラムも再編した。</p> <p>○中高一貫や特進Sコースでは学力幅の大きい中での授業展開を求められている。このような中で授業改善に取り組み、生徒向け授業アンケートでは、授業満足度平均が、5段階で4.0を超える教員が増えている。</p>	<p>○授業や家庭学習に対する生徒の意識や授業の満足度を把握するため、授業アンケートを引き続き実施し、さらなる授業改善に努める。</p> <p>○模試などの客観的指標を活用し、生徒の学力実態の把握に努め、学力向上に向けた授業改善に取り組む。</p> <p>○チャイム・トゥ・チャイムの徹底を全教員で取組み、授業規律の確立を目指す。</p> <p>○少人数の習熟度別授業で理解度に応じた学習の定着を図る。</p> <p>○研究授業や互見授業を引き続き実施し、先進校視察や校外での研修に積極的に参加し、教員一人ひとりの授業力アップに努める。</p>	<p>○授業や家庭学習に対する生徒の意識は向上したか。また、授業改善がきちんと行われ、生徒の授業満足度がさらに向上したか。</p> <p>○模試などの客観的指標を活用し、生徒の学力実態を把握し、学力向上に向けた授業改善に取り組むことができたか。</p> <p>○チャイム・トゥ・チャイムへの取り組みが徹底できたか。</p> <p>○習熟度別授業で理解度に応じた学習の定着が図れたか。</p> <p>○研究授業や互見授業が計画通りに実施できたか。外部の研修会に積極的に参加することによって、教員の個々のスキル・アップが図れたか。</p>	<p>○授業アンケートを今年度も実施し、その結果を各教科で共有し、教科としての授業力アップを図った。授業満足度の平均が5段階で4.19となり、昨年度よりもさらにアップし、かなり多くの教員が4.0を超えるようになった。</p> <p>○教科担当を中心に、模試などの客観的指標を活用し、どの分野の指導に重点を置くべきか話し合い、学力向上に向けた授業改善に取り組んだ。</p> <p>○5月には授業互見期間を設け、月毎に研究授業・研究協議会を計画し、5教科が実施した。</p> <p>○教員が率先垂範し、チャイム・トゥ・チャイムを実施し、授業規律の確立を目指して取り組んだ。</p> <p>○アクティブ・ラーニングの研修会等に多くの職員が参加し、報告会を実施した。東京成徳大学・短期大学・東京校との高大接続会議を開き、入試改革に向けての研修と連携を深めた。</p>	A	<p>○28年度からコースを再編成し、そのコースの特色に添って教育課程を編成し、実施してきた。この再編成が、生徒の学力・意欲向上等に、どのような効果をもたらしたかを多方面から検証し、今後の教育活動に生かす。</p> <p>○模試などの客観的指標を活用し、生徒の学力実態を把握し、学習指導の改善に取り組む。また、生徒の実体を踏まえた諸取り組みの強化を図る。</p> <p>○研究授業や互見授業を4年間の実践を踏まえ、アクティブ・ラーニング型の授業を全教科が研修し、実践する。</p> <p>○チャイム・トゥ・チャイムを実践し、生徒が自発的に授業規律の確立ができることを目指す。</p> <p>○職員研修会を実施し、学力の3要素を踏まえた評価の工夫などにより、教職員の授業力アップと生徒の学習意欲・態度の向上に努める。</p>	<p>○深谷駅周辺に夜遅くまでいる高校生の男女を見かける。本校の生徒かどうかは分からないが、思春期の男女であるので、心配をしているところである。本校ではそうした状況を、どのように認識し、どのように指導しているのか？</p> <p>○すぐ隣にある学校であり、卒業生もたくさん通っている学校なので、これからも情報交換を密にし、生徒の指導に役立てて行きたい。</p> <p>○本校は男女の生徒が仲の良い校風であると思う。生徒たちはさわやかな男女関係であると感じている。車でスクールバスを待つ生徒の様子を見ても、整然と並んでいて、良く指導されていると思う。中学校は英語教育に特化し、力を入れているそうであるが、学校としての特色を大切にしたいと思う。今年度の高校の進学実績は、例年よりも成果が上がらなかったようであるが、世の中は目に見える結果を重視する傾向にあるので、結果が出せるように努力して欲しい。</p> <p>○公立高校にもよく行く機会があるが、本校の生徒は本当によく挨拶ができるようである。よく指導されていると思う。協力して行きたいので、良い特色をいかして頑張ってもらいたい。</p> <p>○3月に子どもがこの学校を卒業した。満足し、感謝しているが、世の中の保護者は、大学の進学実績とか部活動の成績とか、表に出る結果で学校を評価するものである。中にいる生徒の満足度も大切かもしれないが、生徒を集めるためにも、もっと結果に対して貪欲になって欲しい。</p> <p>○今年度は、1年生が沢山入学したそうで、喜んでいる。本校には、人間的に良い生徒が沢山いるとも思う。これも教育成果であり、本校の特色であると思う。大切にしたい。また、保護者の気持ちをくみ上げる学校であって欲しい。保護者が満足すれば、良い評判が広まり、自然と生徒が集まる学校になると思う。PR活動も大切なので、ホームページも充実させて欲しい。応援している。</p> <p>○先生方が親しみやすく、授業が分からなくてもすぐに対応してくれる。兄も姉も公立高校に行ったが、公立にはない素晴らしい面があるので、本校に入学して本当に良かったと思っている。私は、3年生であるが、学校を離れたくない気持ちでいっぱい。こう思える私は、幸せであると思っている。</p>
2	進路指導	<p>○長期休業中、校外勉強合宿に加え、特別講習を2期に分けて実施している。</p> <p>○1・2年次の講習の講座数を増やし、3社の模擬試験のデータを活用し、実力アップに努めている。</p> <p>○前年度に比べ、一般入試の受験者の絶対数が減ってきているので、全体的な大学への合格者数は減少傾向にある。</p> <p>○進路の多様化が進んでおり、個に応じた進路指導が求められている。</p>	<p>○放課後講習や長期休業中の強化合宿や講習の充実を図る。</p> <p>○模擬試験の結果を細かく分析し、その学習データをもとに徹底した個別指導を行う。</p> <p>○少なくとも、学期に1回の二者面談、年に1回（3年は2回）の三者面談を実施し、個別指導の徹底を図る。</p> <p>○生徒一人ひとりの進路希望を支援することを基本に、「伸びしろ」を大切にする視点での進路指導を進める。</p>	<p>○放課後講習や長期休業中の講習で模擬試験等での生徒の学力伸長が見られたか。</p> <p>○徹底した個別指導を行うことによって、一般入試での合格実績が前年度を上回ることができたか。</p> <p>○面談回数の定着が図られ、個に応じた進路指導を行うことができたか。</p> <p>○一人ひとりの生徒の希望を目指す具体的な目標が立てられ、進路実現へと結びつけることができたか。</p>	<p>○長期休業中、校外合宿に加え、特別講習を2期に分けて実施した。1・2年次の講習の講座数を増やし、実力アップに努め、3年次には家庭学習に入ってから直前講習を設けたが、合格実績は今一つだった。</p> <p>○進路説明会や面談の回数を増やすことができた。進路指導部が、学年・コースと連携して計画的に実施し、保護者への情報提供に努めた。</p> <p>○特選・特進コースについては、生徒の進路希望を深化・発展させる指導に課題が見える。課外学習・家庭学習の充実を図るために、スタディサプリを導入した。</p> <p>○進学コースについても希望者にスタディサプリを導入し、週末課題の取組が全学年に定着してきた。学力に自信を持ち、一般入試に挑戦する生徒の数も増えてきた。</p>	B	<p>○模試の結果を細かく分析し、その結果をもとに、徹底した個別指導を行い、合格実績の一層の向上を図る。</p> <p>○生徒の状況や実態に即した効果的な進路説明会を計画し、少なくとも、学期に1回の二者面談、年に1回（3年は2回）の三者面談の定着を図る。</p> <p>○進学選抜コースから、指定校推薦で大学受験できるようになったが、確かな学力を身につけながら、部活動と勉強の両立を図り、進路実現できるよう指導する。</p> <p>○進学コースについては、週末課題の定着、朝学習の一層の充実を図り、学力・意欲向上に努める。また、学校全体として、新テストに備え、先行準備し、態勢を整える。</p>	<p>○模試の結果を細かく分析し、その結果をもとに、徹底した個別指導を行い、合格実績の一層の向上を図る。</p> <p>○生徒の状況や実態に即した効果的な進路説明会を計画し、少なくとも、学期に1回の二者面談、年に1回（3年は2回）の三者面談の定着を図る。</p> <p>○進学選抜コースから、指定校推薦で大学受験できるようになったが、確かな学力を身につけながら、部活動と勉強の両立を図り、進路実現できるよう指導する。</p> <p>○進学コースについては、週末課題の定着、朝学習の一層の充実を図り、学力・意欲向上に努める。また、学校全体として、新テストに備え、先行準備し、態勢を整える。</p>
3	生徒指導	<p>○ほとんどの生徒は、きちんとした服装や頭髪で学校生活を送ることができるようになってきたが、校外ではまだ十分であるとは言えない。</p> <p>○携帯電話の学校への持ち込みは許可制で対応し、その使用方法についても指導しているが、不用意な書き込み等で、いくつかのトラブルが起きている。</p>	<p>○全校一斉の服装や頭髪の確認は継続する。また、登校時には一人一人に声をかけ、明るい挨拶を交わしながら、整容指導を徹底を図る。暖かい学校の雰囲気を醸成する。</p> <p>○いじめ防止法の制定を踏まえ、警察や業者などから外部講師を招き、講演会や講習会を実施し、好ましい携帯電話の使用法の徹底を図る。</p>	<p>○校内外において、全ての生徒がきちんとした制服や頭髪で生活できたか。</p> <p>○好ましい携帯電話の使用法を習得し、全ての生徒が安心して気持ちよい毎日を送ることができたか。</p>	<p>○集会時に全校一斉の頭髪や服装の指導を毎月実施した。その結果、確認時の違反はほぼ無くなったが、校外での状況は、まだ十分とは言えない。</p> <p>○9月に中・高共にスマホ・ケータイ安全教室を行い、集会やHRでも継続的に指導しているが、何件かのトラブルもあり、SNSの使用法・マナーについては、今後とも課題である。</p>	B	<p>○頭髪や服装については、校外でもきちんとできるよう、引き続き全校での整容指導を継続して行く。教室の鍵の不具合が続いたので、個人貴重品ロッカーの導入を検討する。</p> <p>○殆どの生徒がスマホを持つようになり、安易な書き込みや、画像の投稿などにより、トラブルを引き起こすケースが危惧される。講演会・集会指導・HR指導等、様々な方法での計画的・継続的に指導して行く。</p>	<p>○頭髪や服装については、校外でもきちんとできるよう、引き続き全校での整容指導を継続して行く。教室の鍵の不具合が続いたので、個人貴重品ロッカーの導入を検討する。</p> <p>○殆どの生徒がスマホを持つようになり、安易な書き込みや、画像の投稿などにより、トラブルを引き起こすケースが危惧される。講演会・集会指導・HR指導等、様々な方法での計画的・継続的に指導して行く。</p>

達成度 A : 達成 (100%)、B : 概ね達成 (75%)、C : 達成途中 (50%)、D : 取り組みを開始 (25%)、E : 取り組めず (0%)